



デバイス使用量

管理者ガイド

目次

変更履歴.....	3
概要.....	4
展開の準備状況チェックリスト.....	5
アプリケーションの設定.....	6
アプリケーションの設定ページにアクセスする.....	6
Lexmark 印刷管理オンプレミス.....	6
Lexmark 印刷管理クラウド.....	8
トラブルシューティング.....	10
アプリケーションエラー.....	10
サーバーに接続できない.....	10
レポートが見つからない.....	10
付録.....	12
索引.....	13

変更履歴

2020年6月

- 証明書を検証するための新しい設定に関する情報を追加しました。

2018年12月

- 印刷ジョブのファイルサイズに関する情報を追加しました。

2018年2月

- 最初の文書のリリース

概要

アプリケーションで、ユーザーのプリンタ使用状況を監視します。

次のいずれかのサーバーで動作するようにアプリケーションを設定します。

- **Lexmark™ 印刷管理オンプレミス**: 中央の印刷キューからドキュメントを印刷するソリューションです(⇒『Lexmark Print Management On-Premises Administrator's Guide(Lexmark 印刷管理オンプレミス管理者ガイド)』)。
- **Lexmark 印刷管理クラウド**: Lexmark が維持および監視を行っているサーバーからホストされるクラウドサービスです。ドキュメント出力の管理と追跡を組織全体で行うためのフレームワークを使用することで、クラウドコンピューティングの機能と利点が最大限に発揮されます。(⇒『Lexmark Print Management Cloud Administrator's Guide(Lexmark 印刷管理クラウド管理者ガイド)』)。

本書では、アプリケーションの設定方法とトラブルシューティング方法を説明します。

次のソリューションの実用的な知識があると役立ちます。

- Lexmark 印刷管理オンプレミス
- Lexmark 印刷管理クラウド
- Lexmark Document Distributor(LDD)
- クラウド認証
- カード認証

(⇒ ソリューションのドキュメント)。

展開の準備状況チェックリスト

オンプレミス環境の場合は、次のことを確認してください。

- Device Usage がバージョン 1.9 であること。
- Lexmark 印刷管理オンプレミスが設定済みであること

メモ: (⇒ 『Lexmark Print Management On-Premise Configuration Guide (Lexmark 印刷管理オンプレミス設定ガイド)』)。

クラウド環境の場合は、次のことを確認してください。

- Device Usage がバージョン 2.0 以降であること。
- 以下が設定済みであること。
 - Lexmark 印刷管理クラウド

メモ: (⇒ 『Lexmark Print Management Cloud Configuration Guide (Lexmark 印刷管理クラウド設定ガイド)』)。

- クラウド認証またはカード認証

メモ: (⇒ アプリケーションの管理者ガイド)。

アプリケーションの設定

アプリケーションを設定するには、管理者権限が必要になることがあります。

アプリケーションの設定ページにアクセスする

- 1 プリンタの IP アドレスを以下の部分で確認します。次のいずれかを実行します。
 - プリンタのホーム画面で IP アドレスを確認します。
 - プリンタのホーム画面で、[設定] > [ネットワーク/ポート] > [ネットワークの概要] をタッチします。
- 2 Web ブラウザを開き、プリンタの IP アドレスを入力します。
- 3 プリンタ機種に応じて、次のいずれかを実行します。
 - [アプリ] をクリックします。
 - [設定] > [アプリ] > [アプリ管理] の順にクリックします。
 - [設定] > [デバイスソリューション] > [ソリューション(eSF)] の順にクリックします。
 - [構成] > [組込みソリューション] の順にクリックします。
- 4 [Device Usage] > [設定] の順にクリックします。

Lexmark 印刷管理オンプレミス

アプリケーションを設定する

- 1 EWS からアプリケーションの設定ページにアクセスします。
- 2 [サイト ID] フィールドに、レポートを保存するサーバーの ID を入力します。
- 3 [サーバータイプ] メニューで、設定に応じて [Web サービス] または [LDD] のどちらかを選択します。
- 4 [サーバー URL] フィールドに、次のどちらかを入力します。
 - **http: //ホスト名: 9780/lmc**
 - **https: //ホスト名/lmc**ホスト名は、サーバーのホスト名または IP アドレスです。
- 5 [証明書の検証] を選択して、サーバーへのすべての接続を検証します。[証明書の検証] が選択されていない場合、CA は検証されません。
メモ: この設定は、[サーバータイプ] が [SaaS] または [LDD] に設定されている場合にのみ適用されます。
- 6 [検証モード] メニューで [チェーン] または [ピア] を選択します。
メモ: 初期設定値は [チェーン] です。
- 7 サーバーに安全に接続するには、サーバーの SSL 証明書をアップロードします。

- 8 [チェックホスト]フィールドに、追加のホスト名(デフォルトのサーバ URL 以外)を入力して、証明書のエントリを確認します。複数のホスト名を区切るには、カンマを使用します。

メモ: デフォルトでは、このホワイトリストにはサーバー URL のみが含まれています。[チェックホスト]フィールドに追加のホスト名を入力して、ホワイトリストに追加します。

- 9 追跡の設定を選択します。

- 10 サーバタイプに LDD を選択した場合は、[LDD の設定]セクションの設定項目を設定します。

メモ: トラッキングが有効で、サーバタイプが **LDD** に設定されている場合、印刷ジョブのファイルサイズ情報がレポートに表示されます。この機能は、一部のプリンタ機種でのみ使用できます。

- 11 [適用]をクリックします。

メモ: 各設定の詳細については、マウスカーソルを合わせると表示されるヘルプを参照してください。

レポートを表示する

開始する前に、次の点を確認してください。

- Lexmark Document Distributor バージョン 4.0 以前の場合、Adobe®Flash® Player バージョン 10 以降を所持していること。お使いの Web ブラウザで ActiveX コントロールの実行が許可されない場合は、Adobe の Web サイトにアクセスしてプラグインを手動でアップグレードしてください。
- Web ブラウザのクッキーが有効になっていること。

- 1 Web ブラウザを開き、次のどちらかを入力します。

- **http: //ホスト名: 9780/lmc**
- **https: //ホスト名/lmc**

ホスト名は、サーバーのホスト名または IP アドレスです。

- 2 管理者としてログインします。

メモ:

- 初期設定のユーザー名およびパスワードは、**admin** です。
- Lexmark 管理コンソールが LDAP サーバーに接続するように設定されている場合は、LDAP ユーザー名およびパスワードを使用します。
- サーバーを初めて起動する場合は、すべてのサービスが開始されるまで数分かかる場合があります。システム起動後すぐに Lexmark 管理コンソールにアクセスできない場合は、数分たってから再度アクセスしてください。

- 3 Lexmark 管理コンソールで、[システム]タブをクリックします。

- 4 [システム]セクションで、[レポート]を選択します。

メモ: (⇒『Lexmark Print Management Administrator’s Guide (Lexmark 印刷管理管理者ガイド)』)。

Lexmark 印刷管理クラウド

アプリケーションへのアクセスのセキュリティを保護する

プリンタにインストールされている組込みソリューションフレームワーク(eSF)のバージョンについては、[ヘルプ情報マニュアル](#)を参照してください。

eSF バージョン 5.0 以降の場合

- 1 EWS で、[設定] > [セキュリティ] > [ログイン方式]をクリックします。
- 2 [追加のログイン方式]セクションから、[クラウド認証]または[カード認証]の横にある[権限を管理]をクリックします。
- 3 [すべてのユーザー]をクリックします。
- 4 [機能アクセス]を展開し、監視する機能を選択します。
- 5 [保存]をクリックします。

eSF バージョン 4.0 以前の場合

- 1 EWS で、[設定]または[構成設定]をクリックします。
- 2 以下の操作を実行します。

セキュリティテンプレートを作成する

セキュリティテンプレートは、内部アカウント、Kerberos、LDAP、LDAP+GSSAPI、Active Directory など、セキュリティビルディングブロックで構成されています。これらのテンプレートは、プリンタの機能とアプリケーションをセキュリティで保護するためにアクセス制御に適用されます。

- a プリンタ機種に応じて、以下のいずれかを実行します。
 - [セキュリティ] > [セキュリティ設定] > [セキュリティテンプレート] > [セキュリティテンプレートを追加]の順にクリックします。
 - [セキュリティ] > [セキュリティ設定の編集] > [セキュリティテンプレート] > [セキュリティテンプレートを追加]の順にクリックします。
- b セキュリティテンプレート名を入力し、以下の認証設定のいずれかを選択します。
 - 単独の設定でプリンタベースの認証を使用する場合、内部アカウントビルディングブロックを選択します。
 - Active Directory の設定で、Lexmark Print Management(LPM) サーバーレスプリントリリースにプリンタベースの認証を使用する場合、LDAP+GSSAPI ビルディングブロックを選択します。
 - LDAP 認証の場合は、LDAP ビルディングブロックを選択します。
- c [テンプレートの保存]をクリックします。

アクセス制御を設定する

- a プリンタ機種に応じて、以下のいずれかを実行します。
 - [セキュリティ] > [セキュリティ設定] > [アクセス制御]をクリックします。
 - [セキュリティ] > [セキュリティ設定の編集] > [アクセス制御]をクリックします。

b [デバイスアプリ]または[デバイスソリューション]をクリックし、以下の手順に従います。

- アプリ 1 またはソリューション 1 を内部アカウントに設定するか、LDAP+GSSAPI または Active Directory セキュリティテンプレートに設定します。
- アプリ 2 またはソリューション 2 をアプリケーションセキュリティテンプレートに設定します。

メモ: アプリケーションセキュリティテンプレートは、認証設定として CardAuth または CloudAuth を選択したテンプレートです。詳細については、「[セキュリティテンプレートを作成する](#)」、8 ページを参照してください。

- アプリ 3 またはソリューション 3 を LDAP セキュリティテンプレートに設定します。

メモ:

- LPM プリントリリースがインストールされている場合、プリントリリースのアクセス制御をアプリケーションセキュリティテンプレートに設定します。
- eSF バージョン 2.x プリンタの場合は、アクセス制御の設定に、eSF Security Manager アプリケーションが必要です。

c [送信]をクリックします。

アプリケーションを設定する

- 1 EWS からアプリケーションの設定ページにアクセスします。
- 2 [サーバータイプ]メニューで、[SaaS]を選択します。
- 3 [サーバー URL]フィールドに、「<https://lsp.lexmark.com/company>」と入力します。company は、お客様に割り当てられた固有の名前または ID です。
- 4 [SaaS の設定]セクションで設定項目を設定します。
- 5 追跡の設定を選択します。
- 6 [適用]をクリックします。

メモ: 各設定の詳細については、マウスカーソルを合わせると表示されるヘルプを参照してください。

レポートを表示する

- 1 Web ブラウザを開き、「<http://lsp.lexmark.com/company>」と入力します。company は、お客様に割り当てられた固有の名前または ID です。
- 2 Web ポータルにログインします。
- 3 上部のナビゲーションバーの[ドキュメントアカウント]にマウスポインタを移動し、[レポート]をクリックします。

メモ: (⇒『Lexmark Print Management Cloud Administrator's Guide (Lexmark 印刷管理クラウド管理者ガイド)』)。

トラブルシューティング

アプリケーションエラー

次の手順を 1 つ以上実行します。

診断ログを確認する

- 1 Web ブラウザを開き、「**IP/se**」と入力します(ここで、「**IP**」は、プリンタの IP アドレスです)。
- 2 **[組み込みソリューション]**をクリックしてから、次の操作を実行します。
 - a ログファイルをクリアします。
 - b ログレベルを**[はい]**に設定します。
 - c ログファイルを生成します。
- 3 ログを分析し、問題を解決します。
メモ: 問題が解決した後、ログレベルを**[いいえ]**に設定します。

Lexmark 担当者に問い合わせる

サーバーに接続できない

次の手順を 1 つ以上実行します。

サーバータイプに **LDD** を選択した場合は、**http: //address: port/path** 形式を使用します。
たとえば、「**https: //123.123.123.123:9780/lmc**」とします。

Lexmark 担当者に問い合わせる

レポートが見つからない

次の手順を 1 つ以上実行します。

監視対象ワークフローのセキュリティテンプレートに認証方式が割り当てられていることを確認する
(セキュリティテンプレートへの割り当てに関する詳細情報 ⇒ 『Embedded Web Server Security Guide (エンベデッド Web サーバーセキュリティガイド)』)。
クラウド認証またはカード認証に関する詳細情報 ⇒ アプリケーションの管理者ガイド)。

eSF バージョン 4.0 以前の場合は、クラウド認証またはカード認証を使用してのログインが必要であることを確認する

ロック画面が無効でユーザーがログインしていない場合は、ジョブを監視できません
(お使いのプリンタの eSF バージョンに関する詳細情報 ⇒ [ヘルプ情報マニュアル](#))。

クラウド認証またはカード認証に関する詳細情報 ⇒ アプリケーションの管理者ガイド)。

Lexmark 担当者にお問い合わせる

付録

免責

2020年6月

この章に記載された内容は、これらの条項と地域法とに矛盾が生じる国では適用されないものとします。Lexmark International, Inc. は本ドキュメントを「現状有姿」で提供し、明示的または黙示的であるかを問わず、商品性および特定目的に対する適合性の黙示的保証を含み、これに限定されないその他すべての保証を否認します。一部の地域では特定の商取引での明示的または黙示的な保証に対する免責を許可していない場合があり、これらの地域ではお客様に対して本条項が適用されない場合があります。

本ドキュメントには、不正確な技術情報または誤植が含まれている場合があります。ここに記載された情報は定期的に変更され、今後のバージョンにはその変更が含まれます。記載された製品またはプログラムは、任意の時期に改良または変更が加えられる場合があります。

本ドキュメントで特定の製品、プログラム、またはサービスについて言及している場合でも、すべての国々でそれらが使用可能であることを黙示的に意味しているものではありません。特定の製品、プログラム、またはサービスについてのすべての記述は、それらの製品、プログラム、またはサービスのみを使用することを明示的または黙示的に示しているものではありません。既存の知的財産権を侵害しない、同等の機能を持つすべての製品、プログラム、またはサービスを代替して使用することができます。製造元が明示的に指定した以外の製品、プログラム、またはサービスと組み合わせた場合の動作の評価および検証は、ユーザーの責任において行ってください。

Lexmark テクニカルサポートについては、<http://support.lexmark.com> にアクセスしてください。

本製品の使用に関する Lexmark のプライバシーポリシーの詳細については、www.lexmark.com/privacy にアクセスしてください。

消耗品およびダウンロードについては、www.lexmark.com にアクセスしてください。

© 2018 Lexmark International, Inc.

All rights reserved.

商標

Lexmark および Lexmark ロゴは、米国およびその他の国における Lexmark International, Inc. の商標または登録商標です。

Adobe Flash Player は、米国およびその他の国々における Adobe Systems Incorporated の商標または登録商標です。

その他すべての商標は、それぞれの所有者の財産です。

索引

あ行

アプリケーションエラー 10

アプリケーションの設定ページ

アクセス 6

アプリケーションの設定ページにア

クセスする 6

か行

概要 4

さ行

サーバーに接続できない 10

た行

チェックリスト

展開の準備状況 5

展開の準備状況チェックリスト 5

トラブルシューティング

アプリケーションエラー 10

サーバーに接続できない 10

レポートが見つからない 10

ら行

レポートが見つからない 10